

令和8年8月 吉日

社会医療法人札幌山の上病院

院長 長谷川 公範

札幌山の上病院 医師直通開設のお知らせ



拝啓

大暑の候、先生におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

厳しさの増す医療情勢の中、ご診療の当たられております先生方のご努力に敬意を表します。その中、平素より当院の診療にご理解とご高配を賜りまして、誠にありがとうございます。

少子超高齢化が進み、医療を取り巻く状況が今後ますます厳しくなることが想定される（いわゆる2040年問題として記載されつつあります）、当院での診療形態にも変化が現れつつあります。

複数疾患をお持ちである超高齢者の増加、そしていわゆる在宅、施設での診療形態（訪問診療やかかりつけ医）による診療が幅広く行われる中、いわゆる医療（Cure）と介護（Care）の両方の視点からの診療の必要性を実感する昨今です。高齢者の発熱等の体調不良等での紹介入院、あるいは急性期病態からのリハビリテーションや退院先調整を含めた急性期病院からの当院転院が増加しつつあります。

そのような状況で、訪問診療やかかりつけ医の先生方の日常診療で遭遇する発熱や食欲不振、倦怠感、認知症状の悪化など、いわゆる感染症や高次脳機能障害等の症状を呈しつつも入院医療機関との連携に苦慮される現場のお声を耳にすることが増して来ております。

それら状況を念頭に、当院の診療をさらにご利用頂く機会を増すことで社会医療法人としての当院の社会的役割を果たしていきたいと願っております。

その一環として、医師直通携帯を開設すること致しました。

ご多忙な日常診療の合間に、まずは直通 PHS にてご連絡頂き、当院医師と直接情報を交換し、当院への搬送入院へとつなげるシステムです。診療情報を含めた医療情報提供準備に時間を割くことが困難な訪問診療やかかりつけ医師の通常診療の中断を可能な限り少なくしようという試みです。

お電話で直接コミュニケーションをとることで、微細な情報をリアルタイムでコンパクトに伝えあうことが出来るのではないかと考えております。

先生方の日常診療の中で是非ともお役立て下さいますよう、ご案内申し上げる次第です。具体的例としては、以下の例を想定しております。

- 外来診療の中で、発熱等で帰宅させるにはやや不安だが、救急病院への紹介もやや躊躇われるような方。
高齢者の肺炎や尿路感染の疑いなど。
- 認知症と思われる症状が見受けられる一方で、介護認定を含めた社会資源活用の手続き等が手付かずであり、自宅へ帰すにはやや不安な方。
- なんとなく最近体調不良気味だが、その原因が判然とせず、どこに紹介しようかと悩むような場合。
- 腰痛や膝関節疼痛だが、どこへ紹介するか悩まれている場合。
内科疾患も合併しているような方。

敷居を低くして（入院・外来）診療にあたっておりますので、御気軽に御相談下さい。

当面は平日の午前 9 時から午後 4 時までの間の運用となりますが、適時改良変更を考えております。是非ご利用をお願いするとともに、ご意見等ございましたら別途お知らせ頂けましたら幸甚に存じます。お電話をお待ちしております。

敬具

札幌山の上病院医師直通電話

運用時間 平日午前 9 時から午後 4 時まで

社会医療法人札幌山の上病院

（フクイック）

医師直通携帯 070-5603-7919

平日 午前9時から午後4時まで

〒 063-0006

札幌市西区山の手 6 条 9 丁目 1 番 1 号

病院代表電話：011-621-1200



(Direct line)